佐藤信之助　内田藤七

尚學友會は、機關紙「勞働組合運動」を發行することに決定した。

日暮里勞働學校廢校（十三年三月閉校）

日暮里日本勞働學校は主として本同盟所屬城北合同（現在關東合同勞働組合支部）の關係する處であつたが、種々なる理由により本年八月廢校する校勞働者教育協會の意見の決定を見た。

五、結語、勞働者教育運動の困難

關東勞働同盟會教育部は組織確立後日尚淺くして顯著なる效果揭げ得ずと云へども、たゞに日淺きが故のみならず、實に日本に於ける勞働者教育運動は、幾つかの大なる障害を有す。

一、長時間勞働の疲勞

[illegible]低[illegible]に極[illegible]業の強制[illegible]連[illegible]く一層の疲勞を與へ月一二回の休日は全[illegible]事に追はるゝに至る。[illegible]本位にしなければならぬ[illegible]特別研究會も出席者を甚だ少なく[illegible]原因である。

二、出勤時間の不同

(イ)紡績工場に於ける晝夜交替制、

(ロ)自動車會社に於ける一晝夜三交替或は四交替制、

(ハ)[illegible]商に存する分増が收入の大部分を占めるため勞働時間の無制限延長の強制、

[illegible]結果勞働者の集會に甚大障害を與へ、殊に自動車勞[illegible]合の如きは現勤務制度の下に於いては絶望的である。